



# 躍進する生長の家社会事業団

聖典『生命の實相』・聖經『甘露の法雨』を拝読し、

大安心の光明生活を送ろう!!

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075

FAX: 042-843-0076

## 《今月拝読の真理の言葉》

「このような時勢だからこそ、私たちは光明の生活法で、朗らかに、明るい生活を送りましょう。」

朗らかに笑って生きよ

谷口雅春先生

諸君よ、笑え、笑え、盛んに笑え。……われらは快活に小鳥のように陽気のみちた生活を送るうではないか。陽気のみちた家は必ず生長する。その家は「生長の家」となる。

＊ 実際高らかな朗らかな笑いは、自然が与えた最良の強壯剤である。哄笑を爆発させるとき、憂鬱な心で抑えつけられていた生理作用はたちまち活発に活動をはじめ。血液の循環は順調になり、白血球の喰菌作用は増加し、自然療能はさかんになる。だから、「生長の家」の生き方をする家には、病気の悪魔はいれない。

＊ いつも、自由に快活に高らかに朗らかに笑える人は幸福である。諸君がもし不幸であるならば、そして「こんな人生が悲しいのになんで自分が笑えるか」と言いたいようであるならば、諸君よ一室にしりぞいて、まず鏡を見て笑え。鏡に映った表情を見て、自分がまだ幸福の要素を多分にもっていることを強く心に印象せよ。そして重ねて笑え。声をたてて笑え。ウィリアム・ジェイムズ教授も言ったように、表情は心の表われであると同時に、心は逆に表情で支配されるのである。

＊ さあ!! 一日一回は心の体操で

高らかに笑いましょう。

(『生命の實相』生活篇)

## よろこび溢れる「谷口雅春先生報恩全国練成会」 第5回 参加者の感想文より



初笑い大会

—神の子湧き出ずるよろこび

誓いの握手 (閉会式)

—離れがたく去りがたく延々と

### “生き方を変えよ”

埼玉県 小坂善子

結語を聞き終えた今、“生き方を変えよ”過去を捨て今を生きる”徳を積むこと”——私にとつても、更に生き方を変える、大きな大きな転機の練成会になりました。

神様に私を自由にお使い下さいとの祈りを深め、自分がこの世に生まれたお役目を果たしていきたいと思えます。

あたたかい最高の笑顔で迎えて下さった運営の皆様、講師の皆様、すべての講話がピカイチだなあ素晴らしいと思いました。受講された方々も真剣で、本当に良い練成会でした。主人も最終日来てくれ、娘も昨日講話を聞きに来てくれ、本当に幸せでした。

### 新しい世界へ進んでいきます

佐賀県 中原朝実

幼い頃から真理の話を何度も聞いていたの

に、今回初めて「ここまで興味深く面白いものなのか」と感じました。実相の世界のありのままを生きていけば、何一つ恐れる心配はなく、何にでも飛び込んでいけるんだと思いました。いつ、どんな時でも笑顔と感謝と神様を心の底から信じて拜むこと、そして聖經読誦を意識的に習慣づけていこうと思います。

私が今必要としていた答えがこの練成会にありました。これまで環境や人のせいばかりにしていたりましたが、全て自身の問題でした。これも全て新たなスタートへの一歩だとわかったので、生まれ変わって新しい世界へ進んでいこうと思います。

### 笑顔が素晴らしいと褒められて

愛媛県 青野栄一

私は笑顔が少ないのですが、座談会で大膳先生から「笑顔が素晴らしい、美しい」とお褒めの言葉を頂いて大変嬉しくなりました。褒められたことのない人生で、その嬉しさは有難く印象深いことでした。有意義な三日間、感謝で一杯です。

### ○練成会延期のお知らせ

6月26日、28日に予定の「第6回谷口雅春先生報恩全国練成会」は、新型コロナウイルス感染症が拡大している社会的状況に鑑み、おちつくまで延期いたします。何卒ご理解くださいませ。

○この度の機関紙は臨時号ですが、これから『生命の實相』拝読運動の出発です!!

## 人生に光をもたらす聖典 『生命の真相』を今こそ拝読するとき!!

神癒と大いなる信仰を与えられた

田内川動物病院  
院長 田内川 明

私は大学を卒業後、獣医師として群馬の養豚場に就職し、防疫と治療を行っておりました。動物が好きで獣医になったのですが、養豚場は豚を食肉にする、いわば工場みたいなもので、自分には他に使命があるのではない、悩みながら業務にあたっておりました。そんな時、昭和45年11月25日、三島由紀夫先生の市ヶ谷での義挙を知り、その夜、会社を辞めて東京に帰りました。

再就職した製薬会社では、プロパーとして病院を訪問し、薬の説明をする事が仕事でした。担当の自衛隊中央病院の薬局長、石義雄二等海佐には大変お世話になり、訪問する度に話が長くなりました。特に三島先生の事件については、私と同じ考えを持っておられました。私の妻がリウマチになった時、相談しますと、『生命の真相』を読ませなさいと言われ、さっそく読むように勧めましたが妻は読みません。やむなく私が読んで聞かせようと読み始めました。始めはかなり医学とぶつかるところに抵抗がありました。徐々に引き込まれる様に読み進みました。

第七巻に入り、「ただ一冊の本を手にするだけでも、誠と誠、人の誠と神の誠とが肝胆相照らすことができた人は、ただちに医薬を廃して病が癒えているのである」と書かれていました。私はその時、ずっと痔を患って、自社の薬を使用していたのですが薬を使用するのをやめる決意をしました。その瞬間長年患っていた痔が治ってしまいました。何と云う本なのでしょう『生命の真相』は。

さらに読み進み、全巻読み終わると、視力が0.8から1.5に、また、遊走腎と云う腎臓が移動して、肋骨の下方に移動してしまう状態に私はなっており、いざ手術する予定でしたがこれも治っておりました。まさに谷口雅春先生に神が天降って書かれたご



新編全65巻、現在40巻まで刊行

本が『生命の真相』なんです。私はその後も何か大きな問題がある時は必ず『生命の真相』を全巻読む事にしております。どんな問題も必ず解決してまいります。

尚、私は『生命の真相』を読み、私の使命が生長の人類光明化、天皇后日本実相顕現にあると知りました。三島由紀夫先生が生長の家に導いて頂いたのだと感謝しております。

真理の言葉は人生最高の宝です

有会社原源本店  
代表取締役社長 有森義典

私は高校一年の時、夏季高校生練成会に参加して感動したのが始まりで、生長の家高校生連盟に入りました。その活動の中で、先輩からしきりに言われたのが『生命の真相』を読むという事でした。第一巻から読み始めたのですが、高校生にとってなかなか難しい言葉があり、人生の悩みもまださほどない自分にとって読み続けることができませんでした。日々の生高連活動は一所懸命に頑張ったのですが、真理の勉強が追いついていない状態でした。

私が『生命の真相』を全巻読んだのは、大学の時だったと思います。その時は読む巻ごとに「この巻は今までの巻の中でも最高に素晴らしい」と思い、あつという間に四十巻を読破しました。今光明思想社から新編『生命の真相』が出ていますが、文字が大きく、内容も実に整理されて読みやすく、新鮮な感動を覚えます。

私の人生において、谷口雅春先生に教えていただいた真理の言葉は最高の宝です。仕出し業をしていた頃、ちよつとした心の油断から食中毒を出してしまい、心が落ち込んでしまった時、私を救ってくれたのも『生命の真相』でした。

他にもさまざまな私の窮地の時、支えて下さった真理の言葉があります。困った時、身近にその言葉があるのは何より有難いことです。この幸せを心から感謝してそれに報いる生き方をしたいと思います。

そして谷口雅春先生の教えをこれからも地道に伝えていきます。